

であり高齢者（65歳以上）の人口が市内で最も多いことから実証実験の地域として選定されました。運行後は、乗合ワゴンの利用実績の分析を行い、利用者が少ない停留所を廃止し、曜日を分けて路線の変更を行うことにより、所要時間の短縮につなげるなど、利用しやすい環境になるように改善を行っているとのことでした。

国土交通省中部運輸局三重運輸支局へのオンライン視察では、現在、多くの地域で人口減少が本格的に進行していることに伴い、地域公共交通の維持・確保が難しくなっており、高齢者の運転免許証の返納が年々増加しているなど、移動手段を確保することがますます重要な課題になっているとのことでした。視察後、委員から「公共交通を見直し、足りない部分をNPOなどが補足していく必要がある」、「現状を踏まえ、C-BUSの停留所を見直すべきではないか」などの意見がありました。



国土交通省中部運輸局三重運輸支局
へのオンライン視察

【委員間協議では】

C-BUS運行については、市の財政負担が増加傾向にありますが、導入当初とは取り巻く環境も変化しています。そのため、地域公共交通計画策定に向けて、利用者ニーズなどの調査を行い、地域公共交通を廃止した場合に、追加的に必要となる多様な行政部門の代替費用と、運行に関して行政が負担している財政支出を比較することで把握できるクロスセクター効果も考慮した上で、運行形態を検討し、市の財政負担を明確にしていく必要があるとの意見がありました。

また、一ノ宮地区乗合ワゴン実証実験の結果を踏まえ、公共交通空白地域における移動手段を確保するために、MaaSを活用するなど、需要規模に応じた効率的・効果的な運行として、利用者の輸送ニーズに応じて運行ルートや乗降場所を柔軟に設定できるようなデマンド型の運行の検討が必要です。

また、新たに策定される地域公共交通計画を基に、介護保険制度における移動支援の導入も視野に入れた上で、各地域づくり協議会、福祉分野との連携も重要であるとの意見がありました。

MaaSとは？ 【マース：Mobility as a Service】

地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせることで検索・予約・決済などを一括で行うサービスであり、観光や医療などの目的地における交通以外のサービスなどとの連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。

スマートフォンアプリなどを用いることが多い。



【調査を踏まえた上で市行政に対し次の提言を行いました】

- ① C-BUS運行については、将来的な市の財政負担の方向性を明確にするとともに、他の公共交通機関との連携を見据えるなど、利用者ニーズに応じた効率的な運行形態に向けて検討を行うこと。
- ② 一ノ宮地区乗合ワゴン実証実験の結果を踏まえ、本市の交通空白地域における最適な移動手段を検討するとともに、新たに策定される地域公共交通計画に基づき、各地域づくり協議会や福祉分野と十分な連携を図り、移動困難者の課題解消に努めること。